

# 人・技・物を知る！ 地域発“おいしい宝”

このコーナーでは毎回、地域資源を活用して  
特産品を生み出している  
地域の元気な企業を紹介します。

## 便秘解消、美肌、育毛……!? 飲む温泉でカラダ生き生き



手をつける、ものの数秒で無

数の気泡がびつしりと付く。その濃い炭酸成分は、今や全国でもトップクラスといわれるほどだ。大分県久住山麓の温泉地・長湯。この地に湧き出る温泉は古くから、「飲んで効き、長湯して効く、胃腸心臓に血の薬」と言われて重宝されてきた。その昔、岡藩主もこの良泉に魅せられ、湯治を楽しんでいたとか。また岡藩5代藩主の側室であった陽光院が、飲泉をして胃腸病が治ったという言い伝えもある。その報恩として建てられた薬師如来像が、温泉街の湯乃原天満社に祀られているなど、効能の高さを物語るエピソードは数多い。

宿や温泉施設でも飲泉ができる長湯だが、飲泉文化を自宅でも体感できるようにと開発された温泉水が「マグナ1800」。リピーターに「命の水」とまでいわしめた水

超硬水と呼ばれる「マグナ1800」。硬度とは、水1ℓに含まれるカルシウムやマグネシウムの合計

量で、水道水が平均50〜60、300以上になると硬水とされる。だが、商品に使う源泉の硬度は1800。精製の過程で最終的には900になるが、それでも成分の豊富さは特筆すべき点だ。この「マグナ」に使用する温泉は、源泉およそ51℃。毎分60〜80ℓの勢いで噴出する温泉をタンクに溜め、鉄分を沈殿させる。その上澄み液を加熱殺菌。添加物を一切使わない、まろやかな口当たりの水が出来上がる。

長湯で飲泉をした時に感じる鉄分の味は、「マグナ1800」にはほとんどない。一方、硬水ならではのどっしりとした重さはそのままで。「身体に合う、合わないはあります。ただ効果を感じた方は必ず常連になります」と「長湯温泉マグナ」代表取締役の志賀祐喜さ

ん。飲む適量は1日500mlで、コップ一杯を朝昼晩1日3回飲むと理想的だ。特に女性から届く効果が、便秘解消。ほかに「血糖値が下がった」「爪が硬くなった」「育毛効果が見られた」など、日々多くの喜びの声が寄せられる。また、シユワシユワとした炭酸成分はないが、炭酸水素イオンが溶け込んでいるのも特徴。それゆえ肌の細胞活性化や美白促進など、身体の外からの効果も期待できる。

現在は、温泉水に竹田の名水を混ぜて飲みやすくした「マグナ300」や、麦焼酎と合わせた「竹酔日」も販売。「肉が軟らかくなる効果もある」、今後はタレなども開発していきたい」と志賀さんは意気込む。ドイツでは「飲む野菜」と言われて大切にされてきた温泉水。野菜を食べるように水を飲むことも、これからの新しい健康法や美容法になるはずだ。

マグナ1800・マグナ300

500ml / 180円 2ℓ / 600円

竹酔日

720ml / 1,100円

©株式会社 長湯温泉マグナ

☎0974(75)3611 <http://mgna.jp/>

※注文はTELまたはHPにて

※「マグナ」シリーズは道の駅ながゆ・道の

駅たけた・長湯の各温泉宿等で購入可

※「竹酔日」は竹田市内の酒屋等で購入可



右 / 全国有数の炭酸泉が湧き出る長湯温泉(写真はガニ湯)。  
左 / 事務所の敷地内に、「マグナ」に使う温泉が自噴している。

